

令和4年度 学校運営について

令和5年3月1日

校長 井口 聡子

教育目標 『ふるさとを愛し 共に学び 共に輝く』

重点目標 かかわり合い 認め合い 学び合う子どもの育成

- I 統合3年目にあたって・・・・・・・・・・上田の歴史をつくる
○創立メンバーであることにプライドをもち「上田の校風」を創る志を育む
- II 重点目標の具現に向けて・・・・・・・・・・ハート&バード上田

1 温かい人間関係づくり 2 生きる力を育む

1 温かい人間関係づくり

(1) かかわり合う活動を生かす

- 言葉を大事に 「私は」を意識する。
- 安心して間違えられる教室、仲間づくり
居心地のよい学級づくり
気持ちを表す場の確保とフィードバック

(2) 未然防止・早期対応・再発防止

- 情報を共有しみんなで育てる。

2 生きる力を育む

(1) 分かる、できる授業

- 凡事徹底 当たり前の共有を図り、全校体制で取り組む。
- ルールを敷かず待つ 失敗から学ぶ経験を大切にする。
- 授業改善のための校内研修を進め、授業のUD化に努める。
UD=ユニバーサルデザイン 支援が必要な子に「ないと困る」全ての子に「あると便利」

(2) 日常生活に知的な刺激を

- もっと知りたい気持ちにさせる仕掛けをつくる。
- 読書好きにする環境づくりと支援

III 活動の視点・・・・・・・・・・みんなが幸せになるために

- 安心・安全・命を守る⇒環境整備と防災教育の推進⇒自分の身を守る力を育む。
- 地域に開く⇒人材や環境を生かす学びの推進⇒広く発信し双方向のつながりを創る。
- 子ども・家庭・地域・教職員で知恵を出し合って、見直しを図る。
- 小さな一歩を大切にし、共に喜び合える関係をつくる。

IV 成果と課題

- 主な学校行事は予定通り実施できた。目標をもちクラスで協力して達成する経験が、意欲や自己有用感につながった。みんなが大事な【たった一人の自分】という役目を果たせた。
- 地域に出向く授業、外部から専門家を招く授業ができた。豊かな経験が心を耕し、夢をもつ、あきらめない気持ちにつながった。未知の世界に触れ、好奇心を高めた。
- 学力向上が課題である。学びに向かう態度や意識のさらなる向上、もう少し難しいことにもチャレンジする気持ちを高める。家庭学習時間の維持、「自分で勉強する」方法を着実に身に付ける。iPadを活用する。多読と精読 身の回りのタネを生かす。
- 当たり前を大切に 学校に行けること(体調や気持ち、支えてくれる家族)
- 自立に向かう言葉掛け どう思う?と、待てること できることを増やす